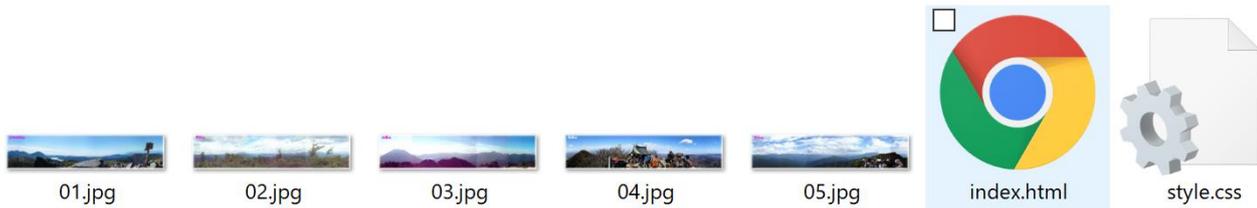


# 写真をふわっと切り替える方法

三宅 節雄

ダウンロードした [ChgImg.zip](#) を Windows10 で解凍すると、通常はダウンロードフォルダーに ChgImg というフォルダーが作成され、写真5枚、index.html と style.css が作成されます。

ChgImg というフォルダー全体を皆さんの My-HP に移動させて下さい



[index.html](#) を起動すると5枚の写真がふわっと切り替え表示されます。表動作確認したら終了します。

皆さんのトップページに表示させたい写真を準備します。ふわっと切り替え表示させたい写真を、サンプルのサイズに合わせる必要は有りませんが、3枚から5枚同一サイズで準備します。

[勉強会のサンプル](#)では、横長(810px×180px)にトリミングした写真を5枚用意しました。

この作業例を以下に記載しますが、例を参考にして皆さんの好みのお好みの場所、サイズで実施して下さい。



①HPビルダーで main.html を開きここをクリック

②枠が選択されたら 1行1列の中央揃いの表を作成



③表の中に abc と記入する

④ChgImg 中の index.html をメモ帳などで開き 5行目の `<link href="style.css" rel="stylesheet">` をコピーする

```
<DOCTYPE html>
<html lang="ja">
<head>
<meta charset="UTF-8">
<link href="style.css" rel="stylesheet">
<title></title>
</head>
<body>
<div class="container">





</div></body>
</html>
```

⑤HP ビルダーを HTML ソースに切り替え  
<title></title>の上で改行して貼り付けますが  
ファイルの場所が ChgImg ですから  
フォルダー名を追加します。  
<link href="ChgImg/style.css" rel="stylesheet">

```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html;
charset=UTF-8">
<meta http-equiv="Content-Style-Type" content="text/css">
<link href="style.css" rel="stylesheet">
<meta charset="UTF-8">
<title></title>
<script type="text/javascript" language="JavaScript">
<!--HPB_SCRIPT_ROV_50
//
// (C) 2020 株式会社ジャストシステム
//
```

⑥abc と書いた場所の前後で改行し、メモ帳で開いた  
index.html の中の  
<div class="container">から</div>までをコピーし  
abc と入れ換えます。  
ここでも写真の入っている場所は ChgImg ですから  
フォルダー名を追加します。

```
<div class="container">
  
  
  
  
  
</div>
```

```
.container {
  position: relative;
  width: 810px;
  max-width: 100%;
  height: 180px;
}

.image {
  position: absolute;
  width: 100%;
  opacity: 0;
  animation: change-img-anim 35s infinite;
}

.image:nth-of-type(1) {
  animation-delay: 0s;
}
.image:nth-of-type(2) {
  animation-delay: 7s;
}
.image:nth-of-type(3) {
  animation-delay: 14s;
}
.image:nth-of-type(4) {
  animation-delay: 21s;
}
.image:nth-of-type(5) {
  animation-delay: 28s;
}

@keyframes change-img-anim {
  0%{ opacity: 0;}
  30%{ opacity: 1;}
  36%{ opacity: 1;}
  45%{ opacity: 0;}
  100%{ opacity: 0;}
}
```

⑦この状態で Chrome などのブラウザで動作を確認します。

⑧写真のサイズは添付ファイルでは 810px×180px になっています。  
これは style.css に記載されています。

上から 3 行目と 5 行目の width と height を皆さんの写真のサイズ  
に変更します。

⑨この例では写真数が 5 枚で、1 枚当たり 7 秒表示に設定しています  
表示時間を変えたい場合には表の 7s、14s、21s、28s、35s を変更する  
数値は 7 の倍数(N 倍)です。原案は 10 秒表示で 3 枚でした。

⑩写真の枚数が 3 枚の場合、.image:nth-of-type(4)および(5)の項目を消し、  
下の 7 行を下記の様に変更します

```
@keyframes change-img-anim {
  0%{ opacity: 0;}
  30%{ opacity: 1;}
  36%{ opacity: 1;}
  45%{ opacity: 0;}
  100%{ opacity: 0;}
}
```

```
@keyframes change-img-anim {
  0%{ opacity: 0;}
  17%{ opacity: 1;}
  25%{ opacity: 1;}
  35%{ opacity: 0;}
  100%{ opacity: 0;}
}
```

⑪新しく作った表は、お好みにも寄りますが、サンプルでは非表示にしました。

ChgImg に関する説明は以上ですが、勉強会の HP では BGM の設定を右上に移動させています。

※出来あがったらリンクを貼って、サーバーにアップして下さい。